

海の中から地球が見える～環境危機と平和の危機

環境科学者・高田秀重さん × 環境活動家・武本匡弘さん

環境活動家の武本匡弘さんは、プロダイバーとして40年以上、海の中の生き物を目撃する中で、とくにこの20年で地球が危機に瀕していることを目の当たりにしました。大学で研究を続けてきた高田秀重さんも、同じくらい長く、環境中とくに水中の有害化学物質を研究し、近年はその運び屋となるマイクロプラスチックの影響について警鐘を鳴らしています。“海つながり”の2人に共通する考えは、地球環境の危機を食い止めるには、石油文明にどっぷりと浸かった産業構造や生活スタイルを変えるしかないということです。そして最大の環境破壊は戦争であり、平和の危機を食い止めることが環境の危機を食い止めることにつながるということです。2人の対談を通して、2つの危機について考えてみませんか。

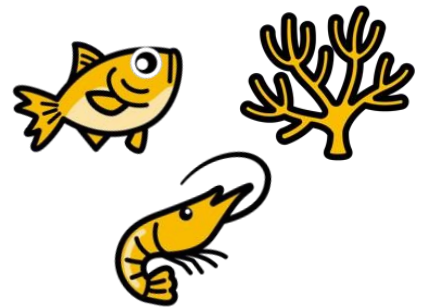
日時：2026年6月27日（土）13:30～16:00（開場 13:00）

会場：連合会館 204会議室／オンライン併催

（東京都千代田区神田駿河台3-2-11／最寄駅:地下鉄「新御茶ノ水駅」B3出口すぐ）

<プログラム>

- 13:30 開会あいさつ
- 13:35～14:15 武本匡弘さん講演
- 14:15～14:55 高田秀重さん講演
- 14:55～15:05 休憩
- 15:05～15:45 高田秀重さん×武本匡弘さん対談
- 15:45～15:55 質疑応答
- 15:55～16:00 閉会あいさつ



- ◎参加費：一般1000円（日消連会員無料）
これを機に日消連入会の場合は無料になります。
- ◎定員：会場144人、オンライン100人（いずれも要予約）
- ◎申込み：日消連ホームページの参加申込みフォーム
または電話、FAX、右のQRコードから
- ◎締切り：6月25日（木）17時



QRコードからも
お申込みいただけます

（オンライン参加者には6月26日(金)にZoomのURLと資料を送ります）

主催：日本消費者連盟

[問合せ先]電話：03-5155-4765（月・水・金）／FAX：03-5155-4767

<登壇者紹介>

高田秀重（たかだ・ひでしげ）さん



立教大学環境学部特任教授。東京農工大学農学部客員教授・名誉教授。専門は環境汚染化学。1998年からプラスチックと環境ホルモンの研究を開始し、2005年以来International Pellet Watchを主宰している。2019年、キャンパスの自販機からペットボトルを一掃し、学内にマイボトル用給水器を設置した「東京農工大学プラスチック削減5Rキャンパス」を提唱・実施。プラスチック条約政府間交渉に向けたUNEP（国連環境計画）に参加し、専門家として条約制定に向けて活動している。主な著書（監修）は、『プラスチックの現実と未来へのアイデア』、『プラスチックモンスターをやっつけよう！』『分別が楽しくなる！ごみと資源のリサイクル』など。

武本匡弘（たけもと・まさひろ）さん



プロダイバー。環境活動家。NPO法人気候危機対策ネットワーク代表。1985年ダイビング会社設立。プロダイバーとしてのキャリアは約40年、主に環太平洋の海洋環境の変化等を記録し続ける。同時にこの間、4団体の環境NPO設立に関わる。2015年より気候変動・海洋漂流ごみの探査等を目的に「太平洋航海プロジェクト」を開始、自ら操船するヨットによる航海日数は延べ315日、航海距離は3万230キロメートル。日本自然保護協会自然観察指導員。日本サンゴ礁学会会員。グリーンピースジャパンアンバサダー。第五福竜丸平和協会協力会員。

<連合会館へのアクセス>



〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B3出口すぐ
- ・東京メトロ丸ノ内線「淡路町駅」B3出口すぐ
- ・都営地下鉄新宿線「小川町駅」B3出口すぐ
- ・JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」聖橋口5分